

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第122号	氏名	SIA SHEAU SOON
学位審査委員	主査	村田比呂司	㊟
	副査	久恒邦博	㊟
	副査	藤原 卓	㊟
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究では、矯正力作用時の歯の初期変位動態の解析や生体力学的な反応に焦点を合わせ、効率的な前歯の移動に好ましい、水平牽引力のレベルと歯の移動様式の関係性を明らかにし、上顎前歯の抵抗中心の位置を決定したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>3人の被験者を対象に、スライディング・メカニクスを用いて、上顎中切歯に牽引力を負荷した際の2標点の変位をリアルタイムで測定した。上顎前歯の舌側移動時における歯の回転量を算出したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、上顎中切歯の抵抗中心の位置が明らかになった。スライディング・メカニクスにおいて、パワーアームの長さを調整することにより、症例に応じて、歯冠舌側傾斜、歯体移動、あるいは歯根舌側傾斜などの歯の移動のコントロールが可能になると考えられた。以上より、個々の症例に応じた歯の移動様式を達成するために必要な力系を与えることにより、歯を最短距離で目標位置まで移動することが可能となり、矯正治療期間の大幅な短縮が実現されると考えられた。今後のスピーディーで効率的な矯正治療への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように、本論文は矯正力による歯の移動のバイオメカニクスに関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと